

建築コース JABEE授業履修ガイダンス 2018

豊橋技術科学大学 建築都市システム学系
建築コース担当：松井智哉

1

国際資格の必要性

- ✓ 外国で建築技術者として活動しようとする場合、
一級建築士では、不十分
- ✓ 今後の日本技術者教育認定機構（JABEE）の発展
に期待
- ✓ さらには、国際建築士(UIA/国際建築家同盟)の
資格との連携に期待

2

建築コースの学習・教育目標（1）共通

- A) 豊かな人間性と幅広い考え方
人文科学（or相当科目）
- B) 技術者としての正しい倫理観と社会性
社会科学（or相当科目）
「技術者倫理」
- C) 技術を科学的にとらえるための基礎力と
その応用力
数学、図学、自然科学、情報技術関連科目
一般基礎 I（or相当科目）
「応用数学I、II」「基礎力学」「環境物理学」
「建設工学特別講義・演習 I～IV」

3

建築コースの学習・教育目標（1）共通

- D) 技術を科学する分析力、論理的思考力、
デザイン力、実行力
 - D1)適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切
に対応できる建築計画および建築設計・デザインに関
する専門的知識とその応用能力
 - D2)建築史や建築論に関する包括的な専門的知識およびこ
れらの建築修復等への応用能力
 - D3)持続可能な都市計画や都市デザインに関する専門的知
識およびこれらの環境保全や景観保全等への応用能力
 - D4)建築法規や積算、建築産業に関わる包括的な専門的知
識および社会的役割や社会的責任との関係を理解でき
る展開能力

4

建築コースの学習・教育目標（1）共通

- D) 技術を科学する分析力、論理的思考力、デザイン力、実行力
- D5)建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識
- D6)快適な生活環境を提供できる建築環境、建築設備に関する専門的知識
- D7)建築分野の専門的知識に加え、社会基盤工学や人文・社会科学の知識を修得し、実際の課題を適切に認識すると同時に、学生、教員相互の協働および討論を通し、制約的条件を特定し、最適解に向けて創造的に企画・立案ができるデザイン能力
- D8)建築分野に関する実務上の問題を理解し、社会が要求する制約条件の下で、チームの中で調整・協働し、計画修正を含めて適切に対応できるマネジメント能力

5

建築コースの学習・教育目標（1）共通

- E) 国内外において活用できる表現力とコミュニケーション力
「実務訓練」「建築設計関連」「卒業研究」
- F) 最新の技術や社会環境に対する探究心と持続的学習力
「卒業研究」「プロジェクト研究」

6

建築コースの学習教育到達目標と2012年基準との対応

表1 学習・教育到達目標と基準1の(1)の(a)～(h)との対応													
学習到達目標	基準1の(1)の知識・能力	(a)	(b)	(c)	(d)								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9
(A)		◎	○										
(B)		○	◎										
(C)				◎									
(D1)					◎								
(D2)						◎							
(D3)							◎						
(D4)								◎					
(D5)									◎				
(D6)										◎			
(D7)											◎		
(D8)												◎	◎
(E)													◎
(F)													

基準1の(1):

(a) 地球の視点から多面的に物事を考える能力とその素養

(b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負っている責任に対する理解

(c) 数学、自然科学および情報技術に関する知識とそれらを活用する能力

(d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを活用する能力

(e) 種々の科学、技術および情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力

(f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力

(g) 自主的、継続的に学習できる能力

(h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力

(i) チームで仕事をするための能力

分野別要件「建築学および建築学関連分野」

(B1) 建築上及び技術上の諸要求に応える建築の設計・計画の能力

(B2) 建築の歴史・理論、及び関連する芸術、工芸及び人文科学に関する十分な知識

(B3) 都市の設計・計画及びそのプロセスに関する十分な知識

(B4) 人間・環境、建築物理、及び経済・社会の側面からの理解

(B5) 建築設計・計画の概観とその社会的責任の理解

(B6) デジタルの基本的な調査方法、調査計画、施工技術、その他関連する技術の理解

(B7) 快適で安全な室内環境を創出するための建物性能、技術に関する十分な知識

(B8) 関連する産業、予算、法的側面を調整し、総合的な設計及び工事管理をする能力

(B9) 環境保全、健康、及び生態学的持続可能性の重要性に関する十分な知識

(B10) 建築工学原理の包括的理解に基づく建築設計に関する能力の継続

(B11) 学生、教員双方のための学習・教育・研究方法的の継続

分野別要件「建築学および建築学関連分野」

(B1) 建築上及び技術上の諸要求に応える建築の設計・計画の能力

(B2) 建築の歴史・理論、及び関連する芸術、工芸及び人文科学に関する十分な知識

(B3) 都市の設計・計画及びそのプロセスに関する十分な知識

(B4) 人間・環境、建築物理、及び経済・社会の側面からの理解

(B5) 建築設計・計画の概観とその社会的責任の理解

(B6) デジタルの基本的な調査方法、調査計画、施工技術、その他関連する技術の理解

(B7) 快適で安全な室内環境を創出するための建物性能、技術に関する十分な知識

(B8) 関連する産業、予算、法的側面を調整し、総合的な設計及び工事管理をする能力

(B9) 環境保全、健康、及び生態学的持続可能性の重要性に関する十分な知識

(B10) 建築工学原理の包括的理解に基づく建築設計に関する能力の継続

(B11) 学生、教員双方のための学習・教育・研究方法的の継続

各教科と学習教育到達目標

表1 学習・教育到達目標と基準1の(1)の(a)～(h)との対応													
学習到達目標	基準1の(1)の知識・能力	(a)	(b)	(c)	(d)								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9
(A)		◎	○										
(B)		○	◎										
(C)				◎									
(D1)					◎								
(D2)						◎							
(D3)							◎						
(D4)								◎					
(D5)									◎				
(D6)										◎			
(D7)											◎		
(D8)												◎	◎
(E)													◎
(F)													

基準1の(1):

(a) 地球の視点から多面的に物事を考える能力とその素養

(b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負っている責任に対する理解

(c) 数学、自然科学および情報技術に関する知識とそれらを活用する能力

(d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを活用する能力

(e) 種々の科学、技術および情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力

(f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力

(g) 自主的、継続的に学習できる能力

(h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力

(i) チームで仕事をするための能力

分野別要件「建築学および建築学関連分野」

(B1) 建築上及び技術上の諸要求に応える建築の設計・計画の能力

(B2) 建築の歴史・理論、及び関連する芸術、工芸及び人文科学に関する十分な知識

(B3) 都市の設計・計画及びそのプロセスに関する十分な知識

(B4) 人間・環境、建築物理、及び経済・社会の側面からの理解

(B5) 建築設計・計画の概観とその社会的責任の理解

(B6) デジタルの基本的な調査方法、調査計画、施工技術、その他関連する技術の理解

(B7) 快適で安全な室内環境を創出するための建物性能、技術に関する十分な知識

(B8) 関連する産業、予算、法的側面を調整し、総合的な設計及び工事管理をする能力

(B9) 環境保全、健康、及び生態学的持続可能性の重要性に関する十分な知識

(B10) 建築工学原理の包括的理解に基づく建築設計に関する能力の継続

(B11) 学生、教員双方のための学習・教育・研究方法的の継続

(一部抜粋)

8

2012年基準対応、学習教育到達目標の達成度評価基準

■学習・教育到達目標評価基準											
	A人間性と考 え方	B倫理観と社会 性	C技術を科学 的に捉える	学習・教育到達目標							
				D1建築設計・デザイン能力・ スケール感		D2建築史・建 築論と応用	D3都市計画・ 都市デザイン と応用	D4法規・積 算・建築産業 と社会的責任	D5構造・材料・施 工と建設行為の 総合的知識	D6建築環境・ 建築設備	D7創造的企 画・立案・デザ イン能力
				設計	計画						
評価基準 (必要最低 基準)	人文科学関連 科目を2科目 以上取得	“技術者倫理(必 修)” 社会科学関連科 目または「環境 マネジメント」か ら2科目以上取 得	数学・自然科 学・情報技術 に関する学習 時間を250時 間以上 取得	3単位を取得 建築分野以外 からの編入学 者は、建築設 計製図基礎を 取得すること	2単位を取得	2単位を取得	2単位を取得	建設法規を取 得すること	3.5単位を取得	4単位を取得	卒業研究、プ ロジェクト研究 を履修するこ と
推奨基準Ⅰ (二級建築 士受験資格 相当)	同上	同上	同上	5単位を取得	2単位を取得	2単位を取得	2単位を取得	建設法規を取 得すること	8単位を取得	4単位を取得	卒業研究、プ ロジェクト研究 を履修するこ と
推奨基準Ⅱ (一級建築 士受験資格 相当)	同上	同上	同上	7単位を取得	2単位を取得 ※ ※ただし、D1計画、D2、D3で8単位を取得す ること。	2単位を取得 ※	2単位を取得 ※	建設法規を取 得すること	11単位を取得	4単位を取得	卒業研究、プ ロジェクト研究 を履修するこ と
■高専科目の読み替え方針 上記の学習到達目標区分に従って読み替えるが、学部1-2年で開講している科目に準拠して行う。つまり、D2.D3.D5(生産)、D6(設備)については、学部1-2年で開講科目がない為、読み替え対象としない。											

学習教育到達目標評価基準は、**評価基準**（必要最低基準）、**推奨基準Ⅰ**（二級建築士受験資格相当）、**推奨基準Ⅱ**（一級建築士受験資格相当）の三段階で定めています。

推奨基準ⅡやⅠを満たすように学習に取り組みましょう

今後の予定

□ 3年後期開始までに、個別面談を行う予定

■ 学生ごとに高専4,5年次（相当）での修得状況を確認

□ 取得単位数（65単位>？ or 65単位<?）

□ 人文系科目、社会科学系科目の修得科目数

□ 数学・自然科学に関する学習時間数

「必要学習時間250時間」に注意が必要。足りない場合は、後
期科目等でリカバーすること

□ 主要分野に関する取得単位数

（JABEE認定科目は建築士指定科目とは異なる）

■ JABEEカルテの作成

□ 3年前期までの達成度評価

□ 今後の学習計画の作成

◆ 担当する教員から指示があるので、D棟7階の掲示板等をこまめに確認すること。
（7月頃に、JABEEカルテ入力に関する説明会を予定）